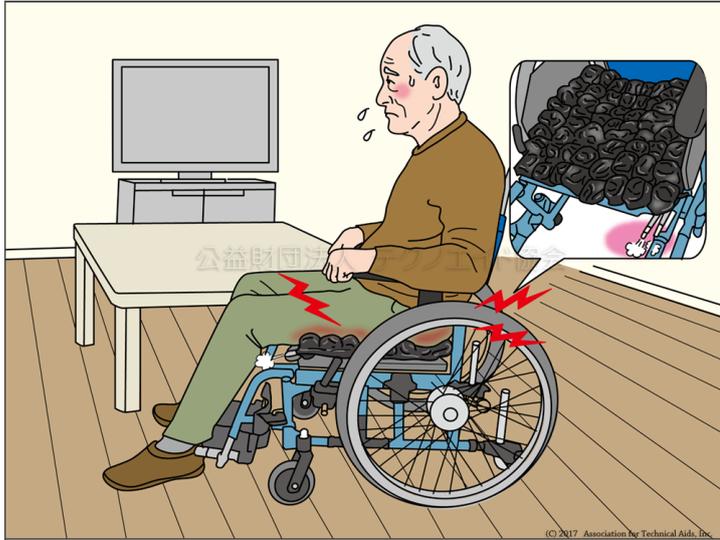


Case : 331

エアクッションの空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底つきする※イラストではクッションカバーを省略しています

場面の説明

褥瘡予防にエアクッションを使用していたが、空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底つきしていた



利用シーン	 移動
主な利用場所	 寝室
	 リビング・居間
	 ダイニング・食堂
介護保険の種目	 車いす付属品
分類コード (CCTA95)	122406 (シート (座)・背もたれ・車いす用パッド・クッション)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

褥瘡予防用のエアクッションは空気圧の調整方法を習得しないと適切に行えないので注意が必要です。定期的なメンテナンスができない状況であれば、空気圧調整の必要のないクッションを選定する必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：空気圧が減っていることに気がつかなかった
- モノ：空気圧が減っていた
- 管理：専門家による定期的なメンテナンスが出来ていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 331

エアクッションの空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底つきする※イラストではクッションカバーを省略しています

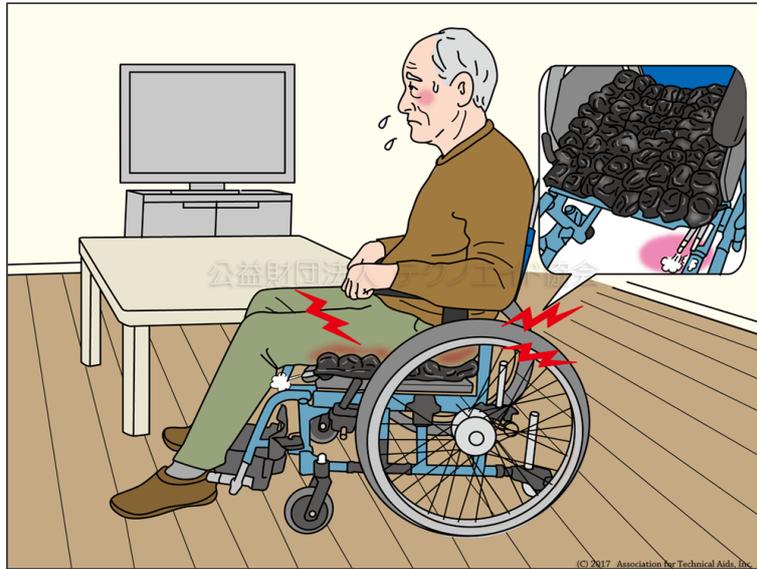
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

褥瘡予防にエアクッションを使用していたが、空気が減っていることに気付かず、座骨・仙骨が底つきしていた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ